

安曇野に舞い降りる名月の能

第33回 信州安曇野薪能

夏の夜の帳が下りるころ、薪のかがり火に照らされる薪能。名誉市民の故青木祥一郎さんの出身地である明科で開催します。夕闇とかがり火の織りなす空間が能楽の世界へ誘います。

演 目	
舞囃子	「清 経」 青木真由人
能	「江 口」 青木道喜 宝生欣哉（人間国宝）
狂言	「太刀奪」 茂山千五郎
能	「鵜 飼」 真如の月」 片山九郎右衛門 宝生欣哉（人間国宝）

8月24日(土)
17:30開演
(15:30開場)

場 龍門淵公園多目的広場

雨天時：明科体育館

問 信州安曇野薪能実行委員会
(文化課内) TEL71-2463

ボランティアを募集しています

薪能当日の運営を支えていただく皆さんを募集しています。
8月に申込者を対象とした説明会を市役所で行います。

申 6月21日(金)までに文化課へ申込用紙を提出または電話で。申込用紙は同課・市HPから入手できます。

6月1日販売開始

チケット

一般前売 3,000 円

一般当日 3,500 円

大 学 生 1,000 円

高校生以下 500 円

販売場所など
詳細は右記2次元コードから



INTERVIEW



主宰・観世流能楽師
青木道喜さん

昨年は雷雨の中、奇跡的に雲が切れ上演することができ、安曇野の皆さんのお力添え、また演能後の温かいお言葉に、心より感謝しています。「雲が切れてからの月がとても綺麗だった」という感想を多くいただきました。そこで今年は、名月にちなんだ能を選びました。海に映る月に引き寄せられるように入水する平清経、川面に輝く月光に現れる江口の遊女、仏法真如の月を現す閻魔大王。安曇野の風景に能の名月が降臨します。ぜひお楽しみください。

臼井吉見文学館講演会 文士の子どもに生まれて



臼井吉見が東京女子大学で教鞭をとっていた頃の教え子だった阿川（旧姓：増田）みよさん。その娘で作家・エッセイストの阿川佐和子さんを招き、小説が身近にある家庭で育った思いなどを語っていただきます。

7月12日(金) 14:00～15:30(開場13:30)

場 堀金総合体育館サブアリーナ 講 阿川佐和子さん(作家・エッセイスト)

費 無料 持 上履き、靴を入れる袋 定 500人(先着順)

申 5月27日(月)から文書館へ電話・ファクス・電子メールのいずれかで

問 文書館 TEL71-5123 FAX71-5127 E-mail bunshokan@city.azumino.nagano.jp



阿川佐和子さん © 梶木功

高橋節郎 生誕 110 年記念

バリトン吉江忠男「高橋節郎生家に響くドイツ歌曲の調べ」
～安曇野の地でつながる二人の芸術家の源流～



吉江忠男さん(バリトン)



森田基子さん(ピアノ)

高橋節郎の芸術とシューベルト、ベートーヴェン、モーツァルトの歌曲との共演をお楽しみください。

6月22日(土) 14:00～15:30(開場13:30)

場 美術館 主屋

費 3,000 円 (入館料込)

定 50人(先着順・未就学児不可)

申 5月28日(火)から美術館へ電話で

問 安曇野高橋節郎記念美術館 TEL 81-3030

上映会・コンサートなど
観覧者募集

映画 おかあさんの被爆ピアノ

日 6月1日(土)
14:00～16:00(開場13:30)

場 「みらい」多目的交流ホール

費 大人500円、高校生以下無料

定 160人(先着順)

申 5月31日(金)までに直接または電話で

早春賦音楽祭 本ステージ

日 6月16日(日)
13:30～15:30(開場13:00)

場 穂高公民館講堂

費 無料 申 要入場整理券

新進音楽家公開オーディション

日 7月7日(日)
ジュニアの部9:30～12:00
一般の部13:00～17:00

場 「みらい」多目的交流ホール

費 無料 定 各回70人(先着順)

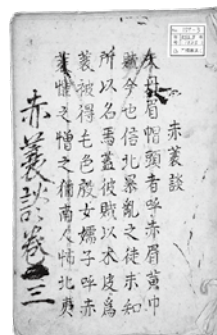
申 6月19日(水)から電話で

問い合わせ

文化課 TEL 71-2463

貞享義民記念館

古文書講座『赤蓑談』を読もう



赤蓑談

約 200 年前に松本藩で起こった百姓一揆をまとめた『赤蓑談』「小谷騒動」を分かりやすく読み解きます。

日 6月22日、7月6日・20日、8月3日・24日
9月7日、10月12日・26日
土曜日、13:30～15:30

場 記念館研修室

講 太田秀保さん(塩尻市文化財保護審議委員)

費 各回300円 定 20人(先着順)

申 5月28日(火)から電話で

問 貞享義民記念館 TEL77-7550